

2020年3月16日

日本比較文学会第82回全国大会(2020年5月30・31日)

中止のお知らせ

日本比較文学会会長

ソートン不破直子

新型コロナウイルスのパンデミックという状況にあって、日本比較文学会理事会は5月30・31日に早稲田大学で開催を予定されている、第82回全国大会を中止することに決定しました。2021年6月ごろに、今回中止する大会のプログラムをおおよそ継承し、さらに新たな募集も追加して開催することを考えています。また、中止によってすでに登壇が決定している方々が不利益を蒙らないように、できる限りの策を講じることも確認いたします。以下に、現時点での方針を列挙いたします。

1. 4月末に発送予定の『会報』第216号には、3月理事会で承認されたシンポジウム、ワークショップ、研究発表の要旨、および大会実行委員長の挨拶などを例年通り記載する。
2. 『会報』216号に記載されている登壇者の要旨は、大会中止によって実行されなかった事情の「証拠」として、登壇者が必要に応じて使用して構わない。さらに必要とあれば、学会は事情を説明する文書を出すことも可能である。これは、2020年度中にこのような業績の証明が必要な発表者の便宜のためである。
3. 2021年度大会にむけては、研究発表のみを募集し、シンポジウムとワークショップは募集しない。つまり、2020年度大会のために準備されたシンポジウム、ワークショップ、および研究発表はそのまま2021年度に実行され、さらに研究発表のみは新しい発表者が加わることになる。そのために例年よりも教室を増やし、時間を調整することになるだろうが、2日間に収めることとする。
4. 『会報』216号に出た要旨で示されている研究成果を、2021年度大会前に、他の口頭発表・論文などで発表したい場合は、それを許可する。
5. 『会報』216号で出た要旨を、後日、2021年度大会のために推敲・改良してもよい。
6. 2021年度大会組織委員会および大会実行委員会の構成委員は、原則として2020年度の委員が継続する。諸般の事情によりそれが不可能な委員の入れ替えは認める。
7. 大会における総会で審議されるべき決算案と予算案は、学会ホームページに掲載し、学会員の質問・異議などは事務局に伝えていただき、理事会が対応し、その経緯を適切な形で公表する。学会賞の発表は学会ホームページに掲載する。大会期間中に予定されている理事会は、メール審議となることが予測される。
8. この「中止のお知らせ」はまず学会ホームページに掲載し、その後『会報』216号送付時に同封する。2020年度登壇予定者には、組織委員会が中止を連絡し、詳細はホームページを見ていただくように伝える。なお、関連して生ずる手続き等に関しては、今後の理事会審議を経て、随時、ホームページ等で公開する。また質問があれば、学会事務局へ問い合わせいただきたい。

以上